



FAS 住まい通信

発行責任者
㈱福地建装
北斗市中野通 324
0138-73-5558

『～自然素材の優しさに家の性能を！～』

◆◆ 自然素材は自然と人に優しい ◆◆

出来れば全く薬品処理などしていない無垢の木材だけで家をつくりたいものです。また自然素材だけの珪藻土だけで壁をつくりたいものです。

スサを豊富に使用した自然素材の漆喰だけで内装を仕上げたらどんなに素晴らしい家が出来上がる事でしょう。

家に使用する自然素材には、無垢の木材、泥壁の仕上げ材、漆喰塗りの壁材、珪藻土の仕上げ材などがあり、それぞれが長所、短所を持っています。共通した特徴は、いずれも自然吸湿放出や有機ガスの吸着作用などがあり、自然環境と住む人に優しい素材である事に違いありません。

しかし、このように使用した自然素材などの特徴をことさら強調するだけで健康住宅だとする広告宣伝を多く目に致します。確かに接着剤や薬品漬けの新建材を使用するよりはるかに健康素材だと言えるでしょう。しかし、どんな素晴らしい自然素材であっても、その組み合わせと使用法によっては必ずしも健康空間だと言えない家が出来上がる場合もあります。無垢の木材も含め、自然素材はとてもデリケートな特性を持っているからです。

◆◆ 温度差が壁の含水量を増加させる ◆◆

木材は素材の柔らかさや穏やかさなどの情緒性があります。漆喰仕上げは、その気品の高さが特徴です。昨今、特に注目されているのは珪藻土の仕上げ材で、調湿、消臭、素朴な仕上がり具合が評価されております。

ファース本部が推奨しているアロエ堆積土の塗り壁材（商品名・ダイアトーマス）は珪藻土と同じような効果を持ちながら価格も安価で施工もし易く、素人でも楽しみながら壁を仕上げる事が出来ます。しかし、内装材をどんなに優れた自然素材で仕上げたとしても、その仕上げ壁がその外側から冷やされたら様々なアクシデントが発生する場合があります。

居住空間で人間が生活を致しますと生活発生熱と生活発生水分を放出します。室内気温が上がり湿度も高くなり、温度の低い壁面があればその壁に湿

気が吸い込まれて行きます。壁がガラスなら結露となりますが、自然素材の場合その素材に湿気が含まれて、その壁面の含水量が増加します。

◆◆自然素材と正しい施工法◆◆

温熱環境の伴わない家では、自然素材の方が新建材より湿気を吸い込み易く、その含水量が増加するとカビの胞子が発生する場合があります。

このカビの胞子がハウスダストとなって居住空間に飛散すると、住む人に甚大な健康被害を与える場合もあります。つまり、仕上げ材にどんなに自然に優しい素材を使用しても、家の温熱環境の性能を無視したのでは、弊害を助長する事にもなり兼ねません。

本物の健康空間をユーザーさんに提供するためには、住む人と地球に優しい自然素材の採用と合わせ、家全体をすっぽりと断点なく断熱と気密をはかる事が最善と言えるでしょう。また、湿気が行き来の出来るように、気密や断熱を全く行わない、スススカ状態にしてしまうかのどちらかでしょう。

時代は省エネ時代です。快適で経済的な居住空間を構築するには、完璧な気密、断熱層で家を包み込み、外部の冷たく乾燥した空気や、蒸し暑くジトジトの空気を入れないようにすると一層、自然素材の優しさを引き出せます。

このように、自然素材の持ち味を活かすには、換気量を必要最小限に抑える必要上、必然的にオール電化住宅にならざるを得なくなります。

冬の知恵袋

手の届かないところの掃除方法

冷蔵庫の裏のホコリとかってなかなか掃除できないよね。そんな時は、「はえたたき」の上に古いシャツなどを適当な大きさに切ってかぶせて、これで掃除すると便利なんだよ。それ以外にも、着古した化学繊維キャミソールのレースや肩ひもなんかを取り除いて、胴の部分に、ほんのチョッピリ霧を吹き、家具磨きの液をたらして良くもんだ布で家具や床を磨けば、キラッときれいに仕上がるんだ。

